日本農業遺産
Japanese Nationally Important Agricultural Heritage Systems

下津蔵出しみかんシステム

日本農業遺産
下津蔵出しみかんシステム
Shimotsu

日本のみかん発祥の地「下津」が受け継ぐ持続可能な農業システム

木造・土壁の蔵に貯蔵され、
絶妙な糖と酸味のバランスに仕上げられる「蔵出しみかん」

下津町のみかん畑

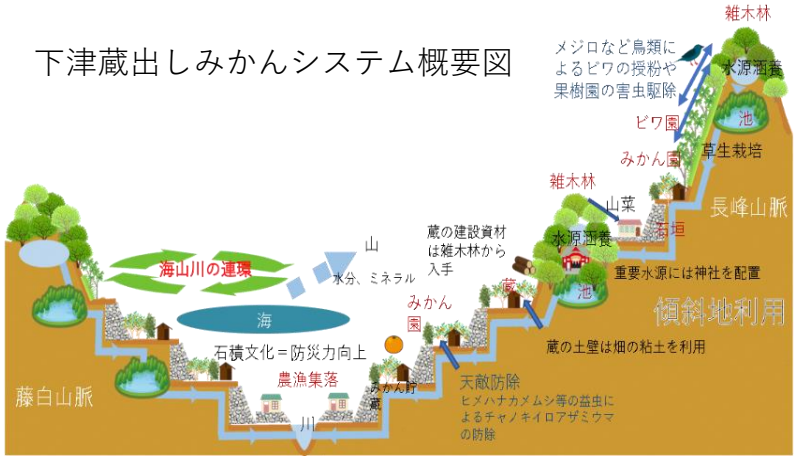
平坦地でキウイフルーツを栽培。

急傾斜地でビワを栽培。

収穫したみかんを木造・土壁の蔵に貯蔵し、1か月以上熟成させる。約300年続く伝統の技術。蔵の建設資材は雑木林から入手。

約1900年前に日本のみかんの祖である「橘」が中国から持ち帰られ植樹。全国で唯一みかんの神様として田道間守を祀り、みかん祭りなどを開催。

下津蔵出しみかんシステム概要図



日本農業遺産認定による効果（取組状況）

広報

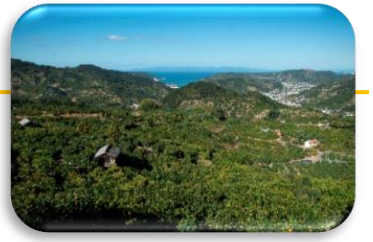
- 下津蔵出しみかんシステムのロゴマーク作成→使用申請15件
- 海南市内の小学校への出前講座開催→R3年度：12校で12回
- ロゴマークのマスクチャーム作成
- ピンバッジ作成
- PR動画、HPの作成
- 近畿宝くじのイラストに採用
- みかんを出荷する段ボールへロゴマークの印刷

ロゴマークの
マスクチャーム

海南市内の小学校への出前講座

出荷段ボールにロゴマークの印刷

近畿宝くじのイラストに採用



保全・継承

- 石垣の石積み技術研修会の開催
- 担い手の確保→新規就農者数 R2年度：2人、R3年度：2人
- 農地保全活動→防護柵設置延長 R2年度：20.57km 、R3年度：24.34km
- 耕作放棄地発生防止→農地流動化面積 R2年度：76.4ha、R3年度：21.1ha
- ため池の保全活動→多面的機能支払交付金による実施団体
  R3年度：14団体